

## 10. プロジェクトの活動実績表（和文）

### 実績表

プロジェクト名：（和名）パナマ共和国「ベラグアス県コミュニティ栄養改善計画」

実施期間：2007年11月～2010年10月（3年間）

対象地域：ベラグアス県カニヤサス郡、ラス・パルマス郡、サン・フランシスコ郡

対象者：対象地域村落の家族

プロジェクトの要約	指 標	実 績
<p><b>上位目標：</b> カニヤサス郡、ラス・パルマス郡、サン・フランシスコ郡のコミュニティ家族における食物の摂取、食物の入手状況が改善される。</p>	<p>2015年までに、対象3郡における1年生児童で低身長である割合が全数の5%に減少する。</p>	
<p><b>プロジェクト目標：</b> プロジェクト活動を通じ、家族主導による食物の摂取及び食物の入手状況が改善される。</p>	<p>ベースライン及び中間時ライン調査と比較して、プロジェクト終了時には、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. すべての対象村落でプロジェクトが推奨した作物のうち少なくとも5種類が栽培されている。</li> <li>2. 参加家族の摂取食物の種類が少なくとも2種類増えている。</li> <li>3. 参加家族の5歳未満の子どもの栄養摂取指数<sup>(注)</sup>が10%改善される。</li> </ol> <p>(注) 各栄養素の必要とされる摂取量/年齢の必要摂取量に対する摂取率</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 100%の参加家庭がピーマン、キュウリ、トマト、ニンジン、セロリ、キャベツ、レタス、カボチャ、ビート、サツマイモ、ササゲ、ネギ、タマネギ等を含む約10種類の作物を栽培した。</li> <li>2. 栽培作物の種類が増加及び参加家庭に対する栄養指導により新食物の摂取はほぼ実現している。ただし、2009年の9月に24時間の復習を提供する予定。</li> <li>3. 中間ライン調査のデータによるとプロテイン、カルシウム、鉄分、ビタミンAの栄養摂取指標が10～15%改善された。</li> </ol>

プロジェクトの要約	指 標	実 績
<p><b>アウトプット1.</b> 食物の入手性と摂取の改善に向けたコミュニティと関係機関の組織力が強化される。</p>	<p>1-1. プロジェクト開始後2年以内に70%以上のプロジェクトにかかわる政府の人間が、少なくとも1回PRAに関する研修を受講する。</p> <p>1-2. プロジェクト期間中に受講をした政府職員は最低1回のPRA講習を参加家族に行う。</p> <p>1-3. 2008年8月までにおのおののプロジェクト対象村落に少なくとも3人のコラボレーターが選出される。</p> <p>1-4. 2009年2月までにプロジェクトのコラボレーター制度の経験に関するハンドブックの第1刷が作成される。</p>	<p>1-1. 関係省職員の約75%がPRAの研修を受けた。</p> <p>1-2. 政府職員が各郡でPRA研修を参加家庭に対し行うことを達成した。</p> <p>1-3. 各集落に3～7人のコラボレーターが選出された。</p> <p>1-4. 2009年4月にコンサルタントを雇用して、コラボレーター・マニュアルの作成を進めた。2009年9月に完成予定。</p>
<p><b>アウトプット2.</b> 食物の増産と適切な技術を導入することにより、プロジェクトの生産コンポーネントに参加する家族の食物の入手状況が改善される。</p>	<p>2-1. プロジェクト終了時までに少なくとも10種類の適正技術及び15種類の適正な農産物が導入される。</p> <p>2-2. 各対象村落の展示伝習圃場において参加家族に対して、少なくとも5回/年研修が実施される。</p> <p>2-3. 参加家族が主導で研修場所及び少なくとも5つのテーマを選定し、各対象村落において少なくとも1回/年普及員と共同で実習が実施される。</p> <p>2-4. 参加家族が習得した知識・技術を広めるイベントが少なくとも各対象村落で1回/年実施される。</p>	<p>2-1. 4つの分野(土壌、種、害虫、肥料等)における19種類の新技术及び16種類の適正農産物を導入した。</p> <p>2-2. 各村落の展示伝習圃場において参加家庭に対し月に最低1回、年に10回以上の研修が行われた。</p> <p>2-3. 参加家族主導で研修場所を設定し、少なくとも1回/年の実習が実施された。</p> <p>2-4. Cerro Negro 村落(ラス・パルマス郡)と Bócle 村落(カニャサス郡)の参加者間において技術・意見交換会が実現された。</p>

プロジェクトの要約	指 標	実 績
<p><b>アウトプット3.</b> 参加家族が自主的に、食に関する衛生、食物の保存、食物の調理に関する適切な習慣を取り入れる。</p>	<p>3-1. 2009年6月までに栄養改善に関する教材が少なくとも3種類作成される。</p> <p>3-2. 各対象村落において年に少なくとも3回の栄養摂取及び入手性改善のための研修が行われる。</p> <p>3-3. プロジェクト作業終了時までに参加家族の70%が、食に関する衛生、食物の保管、食物の調理(料理)に関するもので、それぞれ少なくとも1つは適切な習慣を身に付ける。</p>	<p>3-1. 衛生及び摂取に関する教材が19種類作成された。</p> <p>3-2. 各村落において年に約4回の栄養摂取及び入手性改善のための研修が行われた。また、環境にフレンドリーなかまどを導入する予定。</p> <p>3-3. 2009年6月までに、参加家族の70%以上が、少なくとも1つの食物衛生・保管及び調理に関する適切な習慣を身に付けている。</p>
<p><b>アウトプット4.</b> プロジェクト参加家族の5歳未満の子どもの栄養状態が改善される。</p>	<p>4-1. 2009年6月までに5歳未満の子どものための保健省サービス(栄養補助食品、鉄分及びビタミンA錠剤)についての教材を少なくとも1種作成し配布する。</p> <p>4-2. 各対象村落で5歳未満の子どものための栄養改善研修が年に少なくとも3回実施される。</p> <p>4-3. 2010年3月までに5歳未満の子どもの栄養失調状態(体重/年齢)が8%減少する。</p>	<p>4-1. 保健プログラム(PAC)及び基本衛生に関する教材を7種類作成済み。</p> <p>4-2. 各村落において、約4回の栄養状況改善のための研修が行われる。</p> <p>4-3. 中間時ライン調査では重度及び中度の栄養失調状態の指数が11.5%減少した。</p>

1.1. セミナー及び研修開催実績 (和文)

村落におけるセミナー/研修/ワークショップ開催計画実績

プロジェクト	セミナー・研修内容		研修 (巡回) 実施回数	
	農業分野	栄養・保健衛生分野		
La Gorda / El palmarito 村落	<p><b>【作物栽培技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作物栽培管理技術〔作物栽培方法*、播種方法、育苗、施肥方法、栽培管理(誘引、土寄せ)〕</li> <li>トウモロコシの在来品種及び改良品種の品種間生育比較実験</li> <li>ヤムイモの作付方法比較実験(伝統的作付方法、トウモロコシとの混作、袋栽培、種穴栽培)</li> <li>農薬の適切な使用方法</li> <li>化学肥料の適切な使用方法</li> </ul> <p><b>【圃場造形技術及び土壌保全技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>圃場造形技術、土壌保全技術(Aレベルを使用した等高線に沿った整地・畝立て、枯木柵、生木柵)</li> </ul> <p><b>【有機農業技術及び土壌改善技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>有機肥料(ボカシ肥)</li> </ul> <p><b>【動物飼育技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>養鶏技術(講義)</li> </ul>	<p><b>【栄養】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>栄養に関する基礎知識(栄養素)</li> <li>妊婦の栄養摂取に関する基礎知識</li> <li>乳幼児の栄養摂取に関する基礎知識</li> </ul> <p><b>【保健衛生】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水の衛生管理、水道設備の適切な運営管理研修</li> <li>住空間の衛生管理</li> <li>衛生と健康に関する相互関係</li> <li>適切なトイレの使い方と衛生管理</li> <li>アルコール中毒による弊害</li> <li>家事に関する適正な作業姿勢</li> </ul>	<p><b>【組織強化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト村落委員会の形成</li> <li>コラボレーター制度の導入・構築</li> <li>水道管理自治団体の運営方法</li> </ul> <p><b>【モニタリング/フォローアップ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭訪問型カウンセリング・モニタリング</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト概要、プロジェクト方針説明</li> </ul>	21回
サン・フランシスコ郡 Las Peñitas de Los Hernandez 村落	<p><b>【作物栽培技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作物栽培管理技術〔作物栽培方法*、播種方法、育苗、施肥方法、栽培管理(誘引、土寄せ)〕</li> <li>トウモロコシの在来品種及び改良品種の品種間生育比較実験</li> <li>ヤムイモの作付方法比較実験(伝統的作付方法、袋栽培、種穴栽培)</li> <li>農薬の適切な使用方法</li> <li>化学肥料の適切な使用方法</li> </ul> <p><b>【圃場造形技術及び土壌保全技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>圃場造形技術、土壌保全技術(Aレベルを使用した等高線に沿った整地・畝立て、枯木柵、生木柵)</li> </ul> <p><b>【有機農業技術及び土壌改善技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>有機肥料(ボカシ肥、堆肥)</li> </ul> <p><b>【自然農業技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作付計画</li> </ul>	<p><b>【栄養】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>栄養に関する基礎知識(栄養素)</li> <li>妊婦の栄養摂取に関する基礎知識</li> <li>乳幼児の栄養摂取に関する基礎知識</li> </ul> <p><b>【保健衛生】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水の衛生管理、水道設備の適切な運営管理研修</li> <li>住空間の衛生管理</li> <li>衛生と健康に関する相互関係</li> <li>適切なトイレの使い方と衛生管理</li> <li>アルコール中毒による弊害</li> <li>家事に関する適正な作業姿勢</li> </ul>	<p><b>【組織強化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト村落委員会の形成</li> <li>コラボレーター制度の導入・構築</li> <li>水道管理自治団体の運営方法</li> </ul> <p><b>【モニタリング/フォローアップ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭訪問型カウンセリング・モニタリング</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト概要、プロジェクト方針説明</li> <li>便器の配布</li> </ul>	27回

プロジェクト	農業分野	セミナー・研修内容 野菜・保健衛生分野	組織強化/その他	研修(巡回) 実施回数
プロジェクト サン・フランシスコ郡	<p><b>【作物栽培技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>野菜栽培管理（作物栽培方法*、播種方法、育苗、施肥方法、栽培管理（誘引、土寄せ））</li> <li>農薬の適切な使用方法</li> <li>化学肥料の適切な使用方法</li> <li>トウモロコシの在来品種及び改良品種の品種間生育比較実験</li> <li>ヤムイモの作付方法比較実験（伝統的作付方法、トウモロコシとの混作、袋栽培、種穴栽培）</li> <li>自家採種と種子保存</li> </ul> <p><b>【農地造成技術及び土壌保全技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水田造形、水稲栽培技術（伝習展示圃場内及びプロジェクト参加者の農地で実施）</li> <li>圃場造形技術、土壌保全技術（Aレベルを使用した等高線に沿った整地・畝立て、枯木柵、生木柵）</li> </ul> <p><b>【有機農業技術及び土壌改善技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土壌と土壌改良（講義）</li> <li>有機肥料（ボカシ肥、堆肥）</li> <li>自然農薬</li> </ul> <p><b>【動物飼育技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>養鶏技術（講義）</li> <li>養殖池造成及び養魚技術（プロジェクト参加者の農地で実施）</li> </ul> <p><b>【営農技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作付計画</li> </ul>	<p><b>【栄養】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>栄養に関する基礎知識（栄養素）</li> <li>妊婦の栄養摂取に関する基礎知識</li> <li>乳幼児の栄養摂取に関する基礎知識</li> </ul> <p><b>【保健衛生】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水の衛生管理、水道設備の適切な運営管理</li> <li>住空間の衛生管理</li> <li>衛生と健康に関する相互関係</li> <li>適切なトイレの使い方と衛生管理</li> <li>アルコール中毒に関する被害</li> <li>家事に関する適正な作業姿勢</li> </ul>	<p><b>【組織強化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト村落委員会の形成</li> <li>村落マップ作成ワークショップ</li> <li>コラボレーター制度の導入・構築</li> </ul> <p><b>【モニタリング/フォロアアップ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭訪問型カウンセリング・モニタリング</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト概要、プロジェクト方針説明</li> <li>便器の配布</li> </ul>	24回
プロジェクト Chorrillito 村落	<p><b>【作物栽培技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>野菜栽培管理（誘引、土寄せ）</li> <li>トウモロコシの在来品種および改良品種の品種間生育比較実験</li> <li>ヤムイモの作付方法比較実験（伝統的作付方法、袋栽培、畝栽培、種穴栽培）</li> <li>果糖の育苗</li> <li>化学肥料の適切な使用方法</li> <li>自家採種および種子保存</li> </ul> <p><b>【農地造成技術および土壌保全技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>圃場造形技術、土壌保全技術（Aレベルを使用した等高線に沿った整地・畝立て、枯木柵、生木柵、深耕十堆肥苗床）</li> <li>トラフ造形およびテラス栽培（伝習展示圃場内およびプロジェクト参加者の農地で実施）</li> </ul> <p><b>【有機農業技術および土壌改善技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土壌と土壌改良（講義）</li> <li>有機肥料（ボカシ肥、堆肥）</li> <li>自然農薬</li> </ul> <p><b>【営農技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作付計画</li> </ul>	<p><b>【栄養】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>栄養に関する基礎知識（栄養素）</li> <li>妊婦の栄養摂取に関する基礎知識</li> <li>乳児の栄養摂取に関する基礎知識</li> </ul> <p><b>【保健衛生】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水の衛生管理、水道設備の適切な運営管理</li> <li>住空間の衛生管理</li> <li>衛生と健康に関する相互関係</li> <li>適切なトイレの使い方と衛生管理</li> <li>アルコール中毒に関する被害</li> </ul>	<p><b>【組織強化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト村落委員会の形成</li> <li>村落マップ作成ワークショップ</li> <li>コラボレーター制度導入・構築</li> </ul> <p><b>【モニタリング/フォロアアップ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭訪問型カウンセリング・モニタリング</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト概要、プロジェクト方針説明</li> <li>便器の配布</li> </ul>	25回

プロジェクト名	セミナー・研修内容		研修(巡回)実施回数	
	農業分野	組織強化/その他		
プロジェクト名 E1 Mono 村落	<p><b>【作物栽培技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>野菜栽培管理〔作物栽培方法*、播種方法、育苗、施肥方法、栽培管理(誘引、土寄せ)〕</li> <li>化学肥料の適切な使用方法</li> <li>トウモロコシの在来品種及び改良品種の品種間生育比較実験</li> <li>ヤムイモの作付方法比較実験(伝統的作付方法、トウモロコシとの混作、袋栽培、種穴栽培)</li> </ul> <p><b>【農地造形及び土壌保全技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>圃場造形技術、土壌保全技術 (Aレベルを使用した等高線に沿った整地・畝立て、枯木柵、生木柵)</li> </ul> <p><b>【有機農業技術及び土壌改善技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>有機肥料(ボカン肥) (伝習展示圃場内及びプロジェクト参加者の農地で実施)</li> </ul> <p><b>【動物飼育技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>養殖池造形技術及び養魚技術 (プロジェクト参加者の農地で実施)</li> </ul>	<p><b>【栄養】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>栄養に関する基礎知識(栄養素)</li> <li>妊婦の栄養摂取に関する基礎知識</li> <li>乳幼児の栄養摂取に関する基礎知識(ニンジン、カボチャ)</li> </ul> <p><b>【保健衛生】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水の衛生管理、水道設備の適切な運営管理</li> <li>住空間の衛生管理</li> <li>衛生と健康に関する相互関係</li> <li>適切なトイレの使い方と衛生管理</li> <li>アルコール中毒による弊害</li> <li>家事に関する適正な作業姿勢</li> </ul>	<p><b>【組織強化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト村落委員会形成</li> <li>コラボレーター制度の導入・構築</li> </ul> <p><b>【モニタリング/フォローアップ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭訪問型カウンセリング・モニタリング</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト概要、プロジェクト方針説明</li> <li>便器の配布</li> </ul>	22回
	プロジェクト名 Cerro Negro 村落	<p><b>【作物栽培技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>野菜栽培管理〔作物栽培方法*、播種方法、育苗、施肥方法、栽培管理(誘引、土寄せ)〕</li> <li>トウモロコシの在来品種及び改良品種の品種間生育比較実験</li> <li>ヤムイモの作付方法比較実験(袋栽培、畝栽培、種穴栽培)</li> <li>農薬の適切な使用方法</li> <li>自家採種及び種子保全</li> </ul> <p><b>【農地造形技術及び土壌保全技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>圃場造形技術(耕起、畝立て)</li> </ul> <p><b>【有機農業技術及び土壌改善技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>有機肥料(ボカン肥) (伝習展示圃場内及びプロジェクト参加者の農地で実施)</li> </ul> <p><b>【動物飼育技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>移動式鶏舎</li> </ul>	<p><b>【栄養】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>栄養に関する基礎知識(栄養素)</li> <li>妊婦の栄養摂取に関する基礎知識</li> <li>乳幼児の栄養摂取に関する基礎知識(ニンジン、カボチャ)</li> <li>野菜を使った料理研修(ニンジン、カボチャ)</li> </ul> <p><b>【保健衛生】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>野菜的な衛生管理</li> <li>水の衛生管理、水道設備の適切な運営管理</li> <li>住空間の衛生管理</li> <li>衛生と健康に関する相互関係</li> <li>適切なトイレの使い方と衛生管理</li> <li>アルコール中毒による弊害</li> <li>家事に関する適正な作業姿勢</li> </ul>	<p><b>【組織強化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト村落委員会形成</li> <li>村落マップ作成ワークショップ</li> <li>コラボレーター制度導入・構築</li> </ul> <p><b>【モニタリング/フォローアップ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭訪問型カウンセリング・モニタリング</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>説明</li> <li>プロジェクト概要、プロジェクト方針</li> <li>村落内技術交換会(水稲栽培、有機肥料：プロジェクト参加者の農地で実施)</li> <li>改良かまどに関する他地域間農民意見交換会 (Böcle農民との意見交換会)</li> <li>便器の配布</li> </ul>

プロジェクトサイト	セミナー・研修内容		研修(巡回)実施回数	
	農業分野	栄養・保健衛生分野		
プロジェクトサイト Boclé 村落	<p><b>【作物栽培技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>野菜栽培管理〔作物栽培方法*、播種方法、育苗、施肥方法、栽培管理(誘引、土寄せ)〕</li> <li>トウモロコシの在来品種及び改良品種の品種間生育比較実験</li> <li>ヤムイモの作付方法比較実験(伝統的作付方法、トウモロコシとの混作、袋栽培、種穴栽培)</li> <li>化学肥料の適切な使用方法</li> <li>自家採種/種子保存</li> </ul> <p><b>【農地造形技術及び土壌保全技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>圃場整備(Aレベルを使用した等高線に沿った整地・畝立て、枯木柵、生木柵)</li> </ul> <p><b>【有機農業及び土壌改良技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土壌と土壌改良(講義)</li> <li>有機肥料(ボカシ肥)</li> </ul> <p><b>【動物飼育技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>養鶏及びアヒル飼育技術</li> </ul>	<p><b>【栄養】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>栄養に関する基礎知識(栄養素)</li> <li>妊婦の栄養摂取に関する基礎知識</li> <li>乳幼児の栄養摂取に関する基礎知識</li> <li>野菜を使った料理研修(カボチャ、キャベツ)</li> </ul> <p><b>【保健衛生】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水の衛生管理、水道設備の適切な運営管理研修</li> <li>住空間の衛生管理</li> <li>衛生と健康に関する相互関係</li> <li>適切なトイレの使い方と衛生管理</li> <li>アルコール中毒による弊害</li> <li>家事に関する適正な作業姿勢</li> </ul>	<p><b>【組織強化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト村落委員会の形成</li> <li>村落マップ作成ワークショップ</li> <li>ジェンダー</li> <li>自己啓発</li> <li>コラボレーター制度導入・構築</li> <li>水道管理自治団体の運営方法</li> </ul> <p><b>【モニタリング/フォローアップ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭訪問型カウンセリング・モニタリング</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト概要、プロジェクト方針説明</li> <li>伝習展示圃場選定ミーティング</li> <li>改良かまどに関する他地域間農民意見交換会(Cerro Negro農民との意見交換会)</li> </ul>	30回
	カニヤサス郡 Rio Piedra 村落	<p><b>【作物栽培技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>野菜栽培管理〔作物栽培方法*、播種方法、育苗、施肥方法、栽培管理(誘引、土寄せ)〕</li> <li>化学肥料の適切な使用方法</li> <li>農薬の適切な使用方法</li> <li>トウモロコシの在来品種及び改良品種の品種間生育比較実験</li> <li>ヤムイモの作付方法比較実験(伝統的作付方法、袋栽培、畝栽培、種穴栽培)</li> </ul> <p><b>【農地造形技術及び土壌保全技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>圃場造形技術、土壌保全技術(Aレベルを使用した等高線に沿った整地・畝立て、枯木柵、生木柵)</li> <li>伝習展示圃場内及びプロジェクト参加者の農地で実地)</li> </ul> <p><b>【有機農業及び土壌改良技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土壌と土壌改良(講義)</li> <li>有機肥料(ボカシ肥)</li> <li>自然農薬</li> </ul> <p><b>【動物飼育技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>養鶏及びアヒル飼育技術(講義)</li> </ul> <p><b>【啓蒙技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作付計画</li> </ul>	<p><b>【栄養】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>栄養に関する基礎知識(栄養素)</li> <li>妊婦の栄養摂取に関する基礎知識</li> <li>乳幼児の栄養摂取に関する基礎知識</li> <li>野菜を使った料理研修(サツマイモ)</li> </ul> <p><b>【保健衛生】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水の衛生管理、水道設備の適切な運営管理研修</li> <li>住空間の衛生管理</li> <li>衛生と健康に関する相互関係</li> <li>適切なトイレの使い方と衛生管理</li> <li>アルコール中毒による弊害</li> <li>家事に関する適正な作業姿勢</li> </ul>	<p><b>【組織強化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト村落委員会の形成</li> <li>コラボレーター制度導入・構築</li> <li>水道管理自治団体の運営方法</li> </ul> <p><b>【モニタリング/フォローアップ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭訪問型カウンセリング・モニタリング</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト概要、プロジェクト方針説明</li> <li>伝習展示圃場選定ミーティング</li> <li>便器の配布</li> </ul>

\*全プロジェクトサイトにおいてトマト、ピーマン、キュウリ、ササゲ、ニンジン、カボチャ、レタス、キャベツ、セロリ、サツマイモ、ピート、ネギ、タマネギ、秋ウコン、ヤムイモ、トウモロコシの導入及び栽培技術指導を実施(計16品種)。また、一部プロジェクトサイトにおいて、ダイズ、インゲン豆、陸稲、水稲の導入及び栽培技術指導を実施。

セミナー及び研修開催計画及び実績

年度	コース名 (研修内容)	開催日	期間	参加人数	対象者	備考など
<b>【3省合同会議・協議】</b>						
2007年	プロジェクトサイト候補地の現状分析及びプロジェクトサイト選定に基準設定協議	2007年12月14日	1日間	14人	保健省、教育省、農牧開発省及び経済企画省の国レベルC/P	
2007年	ベースライン調査結果報告検討会、プロジェクト概要説明会	2008年2月26日	1日間	40人	保健省、教育省、農牧開発省及び経済企画省の国、県、郡レベルC/P	2007年2月に実施したベースライン調査の結果分析を基に検討会を開催
2007年	JICA 技術協力プロジェクト概念説明、活動計画立案	2008年3月12、14、17日	計3日間	計46人	保健省、教育省、農牧開発省の郡レベルC/P	
2008年	プロジェクト活動評価・モニタリング会議	2008年5月7日、6月4日、6月18日	計3日間	計36人	保健省、教育省、農牧開発省の郡レベルC/P	
2008年	プロジェクト活動評価・モニタリング会議	2008年7月28日、8月6日	計2日間	約30人	保健省、教育省、農牧開発省の郡レベルC/P	サン・フランシスコ郡及びビカニヤサス郡で実施（ラス・パルマス郡：人事異動の影響で所長ポスト不在。実施を見合わせた）
2008年	PCM・PDM 研修/PDM 見直しに関する協議	2008年10月6～9日	4日間	延163人	保健省、教育省、農牧開発省の国、県、郡レベルC/P	PCM 短期専門家の派遣を要請し、実施
2008年	プロジェクト活動評価・モニタリング会議	2008年10月24、28、29日	計3日間	計56人	保健省、教育省、農牧開発省の郡レベルC/P	
2008年	プロジェクト活動評価・モニタリング会議	2009年2月26日	1日間	44人	保健省、教育省、農牧開発省の郡レベルC/P	
2008年	プロジェクト概要及び進捗状況報告会	2009年2月27日	1日間	5人	保健省、教育省、農牧開発省の県レベルC/P	
2009年	プロジェクト方針概要説明及び進捗状況報告会、中間時調査結果報告検討会	2009年4月1日	1日間	62人	保健省、教育省、農牧開発省及び経済企画省の国、県、郡レベルC/P	



年度	コース名 (研修内容)	開催日	期間	参加人数	対象者	備考など
2009年	プロジェクト活動評価・モニタリング会議	2009年5月12、14、15日	計3日間	計44人	保健省、教育省、農牧開発省の郡レベルC/P	
<b>【3省合同セミナー・研修】</b>						
2008年	「食料と栄養に関する通信教育」研修	2008年7月～9月	延12日間	54人	保健省、教育省、農牧開発省の郡レベルC/P	保健省郡レベルC/P (栄養士) が主体となり実施
2008年	家庭訪問型カウンセリング・モニタリングの実施方法に係る研修	2008年11月19～20日	2日間	35人	保健省、教育省、農牧開発省のサン・フランシスコ郡C/P	保健省の郡レベルC/P (栄養士) が主体となり実施
2008年	家庭訪問型カウンセリング・モニタリングの実施方法に係る研修	2008年12月22～23日	2日間	25人	保健省、教育省、農牧開発省のカニヤサス郡C/P	保健省及び教育省の郡レベルC/P (栄養士) が主体となり実施
2008年	家庭訪問型カウンセリング・モニタリングの実施方法に係る研修	2009年1月6日	1日間	27人	保健省、教育省、農牧開発省のサン・フランシスコ及びラス・パルマス郡C/P	保健省及び教育省の郡レベルC/P (栄養士) が主体となり実施
2008年	参加型手法を用いた「参加型学習」に関する研修	2009年2月10～12、18～20、26日	計7日間	44人	保健省、教育省、農牧開発省の県及び郡レベルC/P	参加型短期専門家の派遣を要請し、実施
2009年	「改良かまど」研修	2009年7月	3日間		保健省、教育省、農牧開発省の郡レベルC/P	実施予定
<b>【ワークショップ】</b>						
2008年	参加型開発手法を用いたコミュニティレベルの年間活動計画策定	2008年7月～8月	4日間×3 コミュニティ	計221人*	コミュニティプロジェクト参加家族	現地 NGO (PRODESO) をファシリテーターとして業務雇用し、3 プロジェクトサイトを対象に実施 (サン・フランシスコ郡 Chorrillito 村落、カニヤサス郡 Bócle 村落、ラス・パルマス郡 Cerro Negro 村落)

年度	コース名 (研修内容)	開催日	期間	参加人数	対象者	備考など
2008年	参加型開発手法を用いたコミュニティレベルの年間活動計画策定	2008年12月～2009年2月	5日間×3 コミュニティ	計134人*	コミュニティプロジェクト参加家族	現地 NGO (PRODESO) をファシリテーターとして業務雇用し、3 プロジェクトサイトを対象に実施 (サン・フランシスコ郡 La Gorda 村落、Ciruela r 村落、Las Peñitas de Los Hernández 村落)
2008年	参加型開発手法を用いたコミュニティレベルの年間活動計画策定	2009年2月～3月	5日間×3 コミュニティ	計134人*	コミュニティプロジェクト参加家族	現地 NGO (PRODESO) をファシリテーターとして業務雇用し、3 プロジェクトサイトを対象に実施 (カニヤサス郡 Río Piedra 村落、ラス・パルマス郡 El Mono 村落)
2009年	コラボレーター制度構築ワークショップ (コラボレーター役割、コラボレーター制度を導入したコミュニティ活動における参加者内規則策定など)	2009年6月15～19日	1日間×5 コミュニティ	計60人	コミュニティプロジェクト参加家族	現地コメンタルタレントをファシリテーターとして業務雇用し、5 プロジェクトサイトを対象に実施 (サン・フランシスコ郡: Chorrillito、Cireral 村落、カニヤサス郡: Bócle 村落、ラス・パルマス郡 Cerro Negro、El Mono 村落)

\*ワークショップ全日程 (4～5 日間のワークショップ) において少なくとも 1 回は参加した参加者の人数を明記

**PDM ver.2.1**

プロジェクト名：（和名）パナマ共和国「ベラグアス県コミュニティ栄養改造計画」

実施期間：2007年11月～2010年10月（3年間）

対象地域：ベラグアス県カニヤサス郡（Bócle、Rio Piedra）、  
ラス・パルマス郡（Cerro Negro、El Mono）、

サン・フランシスコ郡（Ciruelar Centro、Chorrillito、La Gorda/El Palmarito、  
Las Peñitas de Los Hernández）の8村

対象者：対象地域村落の家族

Ver.2.1

2009年8月31日

プロジェクトの要約	指標	指標の入手手段	外部条件
<p><b>上位目標：</b> カニヤサス郡、ラス・パルマス郡、サン・フランシスコ郡のコミュニティ家族における食物の摂取、食物の入手状況が改善される。</p>	<p>2015年までに、対象3郡における1年生児童で低身長である割合が、全数の5%に減少する。</p>	<p>子どもの身長統計資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食糧安全保障が、国家の重要課題として位置づけられる。</li> <li>・現政権及び後継政権が国家政策を大きく変更しない。</li> </ul>
<p><b>プロジェクト目標：</b> プロジェクト活動を通じ、家族主導による食物の摂取及び食物の入手状況が改善される。</p>	<p>プロジェクト開始時と比較して、終了時には、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対象村落でプロジェクトが推奨した5種類以上の作物が栽培されている。</li> <li>2. 参加家族の摂取食物の種類が2種類以上増えている。</li> <li>3. 参加家族の5歳未満の子どもの栄養摂取指数<sup>注)</sup>が10%改善される。</li> </ol> <p>（注）各栄養素の必要とされる摂取量/年齢の必要摂取量に対する摂取率</p>	<p>（全項共通）</p> <p>ベースライン調査及び最終調査結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象地域の住民が大移住する事態が発生しない。</li> </ul>

プロジェクトの要約	指標	指標の入手手段	外部条件
<p><b>成果1:</b> 食物の入手性と摂取の改善に向けたコミュニティと関係機関の組織力が強化される。</p>	<p>1-1. プロジェクト開始後2年以内に70%以上のプロジェクトにかかわる政府の人間が、1回以上参加型開発手法に関する研修を受講する。</p> <p>1-2. プロジェクト期間中に参加型開発手法に関する研修を受けた政府職員が参加型手法を使用して1回以上の講習を参加家族に行う。</p> <p>1-3. 2008年8月までにおのおのの対象村落に3人以上のコラボレーターが選出される。</p> <p>1-4. 2009年2月までにコラボレーター制度のハンドブックの第1刷が作成される。</p> <p>1-5. プロジェクト終了時まで、コラボレーター制度が関係機関の支援により、対象村落で機能している。</p>	<p>1-1.23 及び 3. 技術協力プロジェクト業務進捗報告書、月間業務報告書</p> <p>1-4. コラボレーター制度のハンドブック</p> <p>1-5. コラボレーターの記録観察ベースライン調査及びエンドライン調査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加村落において重大な争いや、分裂が生じない。</li> <li>・急激な気候変動が発生しない。</li> </ul>
<p><b>成果2:</b> 食物の増産と適切な技術を導入することにより、プロジェクトの生産コンポーネントに参加する家族の食物の入手状況が改善される。</p>	<p>2-1. プロジェクト終了時まで少なくとも10種類の適正技術及び15種類の適正な農産物が導入される。</p> <p>2-2. 各対象村落の展示伝習圃場において参加家族に対して、少なくとも5回/年研修が実施される。</p> <p>2-3. 参加家族が主導で研修場所を選定し、各対象村落において少なくとも5つの研修内容に対して1回/年のフォローアップ・応用研修が実施される。</p> <p>2-4. 参加家族が習得した知識・技術を他の家族に紹介するイベントが少なくとも各対象村落で1回/年実施される。</p>	<p>2-1. プロジェクト開始時のベースライン調査及び最終調査結果</p> <p>2-2. 農牧開発省の技術報告書とJICAの技術協力プロジェクト業務進捗報告書および月間業務報告書</p> <p>2-3. 農牧開発省の技術報告書とJICAの技術協力プロジェクト業務進捗報告書及び月間業務報告書</p> <p>2-4. 農牧開発省及びJICAの報告書</p>	

プロジェクトの要約	指標	指標の入手手段	外部条件
<p><b>成果3：</b> 参加家族が自主的に、食に関する衛生、食物の保存、食物の調理に関する適切な習慣を取り入れる。</p>	<p>3-1. 2009年6月までに栄養改善に関する教材が3種類以上作成される。</p> <p>3-2. 各対象村落において年に3回以上の栄養摂取改善のための研修が行われる。</p> <p>3-3. プロジェクト終了時までに参加家族の70%が、食に関する衛生、食物（食材料）の保存、食物の調理（料理）に関するもので、それぞれ少なくとも1つは適切な習慣を身に付ける。</p>	<p>3-1.教材</p> <p>3-2. 技術協力プロジェクト業務進捗報告書、月間業務報告書</p> <p>3-3. ベースライン調査結果、月間業務報告書、終了時調査結果</p>	
<p><b>成果4：</b> プロジェクト参加家族の5歳未満の子どもの栄養状態が改善される。</p>	<p>4-1. 2009年6月までに5歳未満の子どもの栄養改善のための保健サービス（栄養補助食品、鉄分及びビタミンA錠剤）についての教材を1種以上作成し配布する。</p> <p>4-2. 各対象村落で5歳未満の子どもたちの栄養改善研修が年に3回以上実施される。</p> <p>4-3. 2010年3月までに5歳未満の子どもの栄養状態（体重/年齢）が8%改善される。</p>	<p>4-1. 教材</p> <p>4-2. 技術協力プロジェクト業務進捗報告書、月間業務報告書</p> <p>4-3. ベースライン調査及び保健所データ</p>	

活 動	投 入	
<p>1-1. プロジェクトが対象とする村落を決定する。</p> <p>1-2. 郡委員会及びプロジェクトに参加する家族グループを組織する。</p> <p>1-3. すべての対象村落において栄養状況を確認するベースライン調査及び PRA (主体的参加型農村調査) を実施する。</p> <p>1-4. ベースライン調査及び PRA の結果に基づいて、現状把握、現状分析し、結果を報告する。</p> <p>1-5. ベースライン調査及び PRA の結果を、それぞれ (保健省、農牧開発省、教育省) の上部実施機関に報告する。</p> <p>1-6. 郡及びコミュニティレベルの研修、生産、ソーシャルコミュニケーションの各コンポーネントを含む年間活動計画 (PTA) を、村人を入れた参加型手法で策定する。</p> <p>1-7. 保健省、農牧開発省、及び教育省の職員に対して食糧安全保障に関する基本コンセプト・手法に関する研修を実施する。</p> <p>1-8. 保健省、農牧開発省、及び教育省の職員に対する参加型開発手法の研修を行なう。</p> <p>1-9. 参加家族に対するすべての関係機関の技術普及及び情報交換を円滑化するためのコラボレーター制度をつくる。</p> <p>1-10. コラボレーター制度の活動をまとめたハンドブックを作成する。</p> <p>1-11. コミュニティレベルの学校保健促進プログラムの PTA を立てる。</p> <p>1-12. 活動計画表 (PO) に基づき年間研修計画を策定し、実施する。</p> <p>1-13. 活動を評価モニタリングし、その結果を成果 1 の PTA にフィードバックさせる。</p>	<p>&lt;パナマ側 (保健省、農牧開発省、教育省) &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郡レベルの人材の配置 (カウンターパート)</li> <li>・県及び国家レベルの専門人材の配置 (カウンターパート)</li> <li>・プロジェクト運営経費</li> <li>・プロジェクト事務所の設置 (家具、基本備品、電話、インターネット設備の設置を含む) (保健省による)</li> <li>・アシスタント要員 (管理者または秘書、運転手等、プロジェクトに必要な要員) の配置 (保健省による)</li> <li>・プロジェクト実施に必要な土地、建物、設備の確保 (保健省、農牧開発省及び教育省による)</li> </ul> <p>&lt;日本側&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期専門家 (チーフアドバイザー/農村開発、業務調整員)</li> <li>・短期専門家 (PCM 手法、参加型手法、等)</li> <li>・研修の実施</li> <li>・郡及び村落で実施する技術指導及び研修に必要な事柄 (研修教材、教材の複製、ベースライン調査及び最終調査の実施、等)</li> </ul> <p>・資機材</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係 3 省 (保健省、農牧開発省、教育省) が、職員をプロジェクトに参加させる。</li> <li>・研修を受講した 3 省主要職員の頻繁な異動が起こらない。</li> </ul>

活 動	投 入	前提条件
<p>2-1. ベースライン調査及び PRA の結果に基づき、成果 2 の PTA を策定する。</p> <p>2-2. 研修に活用できる（既存の）適切な農産物及び技術を選定する。</p> <p>2-3. 普及員に対して食物の入手性を高める技術に関する研修を実施する。</p> <p>2-4. 参加家族に対する研修の教材を準備する。</p> <p>2-5. ベースライン調査及び PRA の結果に基づいて、研修を行う展示伝習圃場を選定する。</p> <p>2-6. 参加家族に対し、食物の入手性を高める技術に関する研修を実施する。</p> <p>2-7. 参加家族主導で研修の内容と場所を選定し、普及員とともにフォローアップ・応用研修を実施する。</p> <p>2-8. 研修に参加した家族が、技術研修の結果を他の家族に紹介する。</p> <p>2-9. 活動の評価・モニタリングを実施し、その結果を成果 2 の PTA にフィードバックさせる。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本プロジェクトに対するパナマ政府の支援、協力がなされる。</li> <li>• 参加村落において重大な争いや、分裂が生じない。</li> </ul>
<p>3-1. POに基づき、成果 3 の PTA を策定する。</p> <p>3-2. 対象村落における食に関する衛生、食物保存、食物調理に関する適切な習慣を特定する。</p> <p>3-3. 村落における栄養摂取改善を目的とした適切な習慣を身に付けるための研修教材を準備する。</p> <p>3-4. 村落で参加家族に対する研修を実施する。</p> <p>3-5. プロジェクトを通して導入した農産物と知識を利用して、村落の食物摂取改善を奨励する。</p> <p>3-6. これらの活動の評価モニタリングを実施し、その結果を成果 3 の PTA にフィードバックさせる。</p>		

活 動	投 入	前提条件
<p>4-1. ベースライン調査、PRA の結果に基づき、5 歳未満の子どもの健康に影響する食習慣を特定する。</p> <p>4-2. PO に基づき成果 4 の PTA を策定する。</p> <p>4-3. コミュニケーション活動を通じて、保健省の補助栄養食品供与プログラム (PAC) を強化する。</p> <p>4-4. 5 歳未満の子どもの食事に関する教材を作成する。</p> <p>4-5. 5 歳未満の子どもの食事を改善する研修を実施する。</p> <p>4-6. 優先的に 3 歳未満の子どもをもつ参加家族を訪問し、食物と栄養について相談・指導を実施する。</p> <p>4-7. 活動の評価・モニタリングを実施し、その結果を成果 4 の PTA にフィードバックさせる。</p>		